

こんにちは うみ議会です

2026.8.6
No. **102**
うみ議会だより
6月定例会

うみ
議会だより

第102号

◆発行/福岡県宇美町議会
◆編集/議会広報常任委員会
◆印刷/井上紙工印刷(株)
◆発行日/令和8年8月6日

〒811-2192

福岡県糟屋郡宇美町宇美5丁目1番1号
TEL: 092-934-2248 FAX: 092-933-2281
E-mail: gika@town.umi.lg.jp

世界で一つの
もち米をつくろう

桜原小学校の児童が
総合的な学習の時間で
田植え体験

P2 どうなる?今後の部活動の地域展開

P4 工事契約などの議案を徹底審議

P6 一般質問 町政を問う7人が登壇

P14 委員会活動報告ほか



Koe Meter
声メーター
実施中!
議会広報が聞いたみなさんの声
2026.3 から

024

議会広報

インタビューシリーズ

こどもたちの笑顔とそれを支える方々に
スポットを当てていきます!

一本松公園でわくわくBBQ!

みんなの食堂は、こどもたちが温かい食事を囲みながら、地域の人々と交流できる場です。
うみ手伝い隊が中心となり、食を通じた学びや誰もが安心して集える地域づくりに取り組んでいます。
今回、一本松公園で開催したみんなの食堂に議会からも応援に行きました。おいしいBBQを楽しみながら世代を超えた交流の輪が広がり、心温まるひとときとなりました。



▲左:青木さん、左上:西山さん、
右:西依さん

笑顔で過ごす場所!

うみ手伝い隊は、更生保護女性会や保護司会をはじめ、多くのボランティアの皆さんのご協力に支えられながら、こどもの健やかな成長を応援しています。

「みんなの食堂うみ手伝い隊」
代表:西依 和江
☎:090-7150-1440

お芋、タマネギがおいしかった!
苦手な野菜もおいしく
食べたよ!



保護者の方から「こどもたちは、おいしいお肉を食べ、思い切り遊ぶことができて、とても喜んでいました。自然豊かな一本松公園でのBBQや川遊びは、貴重な体験になったと思います。」と喜びの声を聞きました。



うみ手伝い隊は、フードバンク福岡や福岡県こども食堂応援プロジェクトから提供された野菜・果物・肉・魚などの食材と、賛助会員の皆さまからの会費や寄付金などに支えられて運営しています。

議会コメント

地域でこどもを見守り育てる取組として、みんなの食堂の活動が広がることを期待しています。

うみ議会だよりへのアンケートのご協力をお願いします!

いただいたご意見は、今後のうみ議会だよりを作成するうえで参考にさせていただきます。
読んで感じた率直な感想をぜひ、右部のWEBアンケートからお聴かせください!



議会傍聴メーター

Gikaiboutyou Meter

2026年3月議会からの傍聴者 累計
6月定例会は15人が傍聴に来られました

030

【発行責任者】

議長 黒川 悟

【議会広報常任委員会】

委員長 丸山 康夫 委員 鳴海 圭 矢
副委員長 小林 孝昭 委員 安川 繁典
委員 古賀 ひろ子 委員 安川 禎幸

議会からのお知らせ

- ◆ 議会は年4回(3月・6月・9月・12月)定例会が開かれます。
- ◆ 議会ホームページからは生中継がご覧いただけます。
- ◆ 傍聴する場合は、役場3階の傍聴席入り口で住所・氏名をご記入ください。

今後の議会は9月9日に開会予定です。

今後の部活動の地域展開 キーポイントは持続可能な地域クラブの育成

「持続可能な地域クラブ」に展開するために！

本町は、武道の指導者が多く、特に剣友会など地域で活動している団体の指導者からの質の高い指導を受けています。

この地域資源を生かし、地域活動の充実とこどもの健全育成につなげるため、地域と連携して活動されている宇美中学校剣道部に注目し、顧問と生徒にお話を伺いました。

剣道人口をどう増やすか



宇美中学校剣道部顧問
中村亮太先生

中村先生は、本町出身で小学4年生から剣道を学び、現在は中学校部活動で生徒を指導しています。

宇美中学校剣道部は、地域とのつながりも深く、保護者の方々も協力的です。部活動の地域展開の先進的なモデルとなるよう頑張っています。

部活動の地域展開後は、宇美剣友会（スポーツ協会加盟）や宇美剣友会少年剣道（スポーツ少年団加盟）との連携が重要です。

宇美剣友会には、人徳かつ技術的にも素晴らしい指導者が在籍しています。伸び伸びと剣道を行う環境をこどものために作ってきたいと思います。

私は、来年度で定年を迎えますが、自分を育ててくれた地域への恩返しとして、剣道を通じて青少年の健全育成に携わっていきます。

現在、剣友会の問題は、小学生の剣道人口が減少していることです。小学生の剣道人口が減少すると将来の中学生の活動にも影響があります。

そこで、剣道の練習を行う前に武道館で学習支援を行うなど、小学生の加入促進につながる新たな取組を考えています。

議会コメント



厚生文教常任委員会では、本年度の研究テーマを「部活動の地域展開」とし、地域展開がスムーズに進むよう現状把握するとともに、持続可能な地域クラブの育成を支援していく予定です。

安心して活動できる環境整備や費用負担が極力少なくなるよう、財源の確保などを模索していきます。



町立武道館で稽古に励む剣道部員

剣道部は、町内3中学校のうち、宇美中学校のみ（現在男子12名、女子4名が所属）です。

剣道部に入部するために、町内の他の中学校から宇美中学校へ通学している部員もいます。

僕らと一緒に剣道やろうよ



宇美中学校剣道部
副主将 宮本惺矢さん

中体連の糟屋区大会では、個人戦2位となりました。

筑前地区大会でも上位入賞し、県大会に出場する目標を持っています。

町立武道館という素晴らしい稽古場で、中村先生をはじめ、剣友会の先生方の指導を受け、メキメキ上達しているのを実感しています。

剣道部員を増やすために、チラシを作るなど広報活動を充実させて、小学生団員を増やしていきたいです。

部活動の地域展開とは

これまで教員が担ってきた部活動を、地域のスポーツクラブなどの法人が主体となった地域クラブに展開することです。

生徒が将来にわたってスポーツ・文化芸術活動を続けられる環境づくりや、教職員の働き方改革を目的としています。

国は、令和8～13年度を中学校部活動の「改革実行期間」と位置付け、休日は全ての部活動を地域に展開、平日は地域の実情に応じた取組の実現をめざしています。

宇美町のこれまでの取組

町は、NPO法人ふみの里スポーツクラブと委託契約を結び、令和4年度から運動部活動の地域展開を開始しました。

令和5～6年度には、宇美町地域クラブ活動推進検討委員会で議論を重ね、町の部活動の未来を見据えた活動指針「うみ活モデル」を策定しました。

うみ活モデルは
こちらから



「部活動の
地域展開に向けて」
宇美町教育委員会
ホームページ



令和9年8月からは4つの部活動を、 平日も含め地域展開へ

剣道・野球・サッカー・吹奏楽の4つの部活動を、3中学校でそれぞれ1つの地域クラブに集約し、平日も含めて地域に展開する方針です。

3中学校で1つの地域クラブとして、中体連の大会やコンクールにも出場できます。平日は当面、教職員（兼職兼業）を中心に実施していく予定です。



保護者説明会のようす

議会が考える部活動の地域展開の課題

① 平日の活動の実施

平日の指導者を確保することは容易でなく、当面は教職員による兼職兼業で対応することが多くなります。

② 指導者の質・量の確保

安全な指導を行っていくために、指導者に対する研修機会の確保や公認指導者資格の取得など、指導者の質と量を確保していく取組が必要です。

③ 活動費用の確保

現在、保護者の費用負担はありませんが、今後クラブ数の増加などで費用負担が発生することがあります。費用負担を行う場合は、低廉な価格となるよう工夫する必要があります。

④ 生徒や保護者の理解

部活動の地域展開の理解に向けて、今後も広報活動や説明会の開催などを重ねていくことが大切です。

議案審議

6月定例会
第2回臨時会



定例会 臨時会
録画配信はこちら

6月定例会は、12日から19日までの8日間で開かれ、町長から提出された24件の議案と、議員発議1件を審議し、全て原案どおり可決した。第2回臨時会は、7月7日に開かれ、町長から提出された2件の議案を審議し、全て原案どおり可決した。

6月定例会
(6/12~6/19)

専決処分	2件
人事案	15件
契約締結	3件
条例	2件
補正予算	1件
債権放棄の報告	1件
議員発議	1件

臨時会

専決処分	1件
契約締結	1件

補正予算

地域包括支援センターの町営化

内容
令和8年4月から業務を町営に変更したことに伴い、委託料の不用額を減額し、人件費を増額する。

問
今後も持続的に運営していくための人材確保と体制整備は。

答
健康課長
町民サービスの低下にならないよう、専門職の確保や雇用の継続を進めていく。



地域包括支援センターって？
詳細はこちらから

契約締結

大ホール

照明LED化

内容
公募型プロポーザルにより、中央公民館大ホール舞台照明のLED化が実施される。
契約額(1億1528万円)



文化協会 会長
岩崎 靖裕さん

これまで多くの発表会や文化活動を支えてきた照明設備に感謝するとともに、新しいLED照明によって魅力的な舞台表現ができることを期待して、完成を楽しみにしています。

契約締結

宇美東中トイレがリニューアル

内容
老朽化した宇美東中学校B棟のトイレ改修。
(生徒用、多目的、職員用トイレの計11箇所)
契約額(1億1418万円)

問
工事が完了した箇所から順次利用できるのか。

答
学校教育課長
工事業者と調整後、安全確認ができた次第、利用を開始する。

中学校体育館にエアコン設置

内容
学習環境と防災力の向上のため、宇美中・宇美東中学校の体育館にエアコンが設置される。
契約額(2億6707万円)

契約締結

臨時会

宇美東中体育館外壁など改修

内容
築40年を超える老朽化した宇美東中学校体育館の外壁やトイレ、更衣室などの改修工事を実施し、安全性や利便性の向上を図る。

学習環境の向上だけでなく、避難所機能の強化につながる大切な設備です。多くの予算をかけて整備していただいていることに感謝し、みんなで大切にしていきたいです。



村山さんご家族

人事案の同意

固定資産評価審査委員会委員

尾方 伸一氏(再任)

農業委員会委員

森尾 俊久氏(再任)

中西 敏彦氏(再任)

神武 秀直氏(新任)

世利 哲昭氏(再任)

南里 弘人氏(新任)

小林 耕治氏(新任)

杉野 清治氏(新任)

藤木 和則氏(再任)

松田 久幸氏(再任)

藤木 忠幸氏(再任)

藤木 恵子氏(新任)

小園 雄一氏(再任)

山元 路子氏(再任)

安川 禎幸氏(再任)

議員発議

核兵器の脅威を忘れることなく、日本の「持たず、作らず、持ち込ませず」という非核三原則の理念を守り、平和で安全な社会の実現に向けて、その堅持を求める。

提出者
賛成者
古賀 ひろ子
高橋 紳章

安川 禎幸
丸山 康夫
鳴海 圭矢

全会一致で承認・可決した議案／報告議案 令和8年6月定例会 表決一覧

議案名	議案名
専決処分の承認 (町税条例の一部改正)	工事請負契約の締結 (令和7・8年度 中央公民館大ホール舞台照明設備LED化改修工事)
宇美町固定資産評価審査委員会委員の選任	宇美町特定用途制限地域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
宇美町農業委員会委員の任命 (農業委員14名 再任9名 新任5名)	宇美町特別職の職員で常勤のものの給与等に関する条例及び宇美町職員等の旅費に関する条例の一部改正
工事請負契約の締結 (令和8年度 宇美東中学校校舎B棟トイレ改修工事)	債権放棄の報告
工事請負契約の締結 (令和8年度 中学校2校体育館空調設備設置工事)	議員発議 (非核三原則の堅持を求める意見書の提出)

審議した議案と各議員の賛否

○は賛成 ×は反対を表しています

議案名	議員名	小林 孝昭	安川 禎幸	丸山 康夫	平野 龍彦	安川 繁典	藤木 泰	飛賀 貴夫	鳴海 圭矢	古賀 ひろ子	白水 英至	高橋 紳章	審議結果	討論
専決処分の承認 (宇美町国民健康保険税条例の一部改正)		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	承認	反対:鳴海 賛成:安川(禎)
令和8年度 宇美町一般会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	反対:鳴海 賛成:安川(禎)

全会一致で承認・可決した議案／報告議案 令和8年第2回臨時会 表決一覧

議案名	議案名
専決処分の報告 (和解及び損害賠償の額を定めることについて)	工事請負契約の締結 (令和8年度 宇美東中学校体育館外壁等改修工事)



私は
反対

討論

私は
賛成



反対
議長 鳴海 圭矢

課税限度額の引上げでは、根本的な解決にならない。国庫負担を減らされてきた経緯を踏まえて、もっと国費投入を求めるべきであるため反対とする。

反対
議長 鳴海 圭矢

電算システム改修予算において、情報システム共同化に伴う個人情報保護や情報漏えい対策などの課題解決が不十分であるため反対とする。

専決処分の承認
(宇美町国民健康保険税条例の一部改正)

課税限度額の見直しは、社会保険との負担格差を是正し、制度維持に必要である。また、中低所得層への軽減措置もあるため賛成とする。

令和8年度宇美町一般会計補正予算(第1号)

賛成
議員 安川 禎幸

賛成
議員 安川 禎幸

電算システム改修予算は、マイナンバーカードと医療情報の連携に必要なシステムの改修である。自治体DXの推進による住民の利便性や事務の効率化に必要な不可欠であるため賛成とする。

一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、自分の意見や提案を含めて、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いたすことです。

掲載内容は、質問者自身が要約し、広報委員会で校正しています。

高橋 紳章 議員 7P

◆登下校時のこどもの見守り活動の充実を

白水 英至 議員 8P

◆こどもたちをネットトラブルから守る
情報リテラシー・情報モラル教育推進を

丸山 康夫 議員 9P

◆児童生徒の学力向上を

鳴海 圭矢 議員 10P

◆原油・ナフサ不足が与える影響と今後の対策は

古賀 ひろ子 議員 11P

◆空き家対策と未利用地活用による
今後のまちづくりの展開は

小林 孝昭 議員 12P

◆竹害対策と防災・地域循環施策の考えは

安川 禎幸 議員 13P

◆自治体 DX の現状と今後の取組は

議会をもっと身近に

ライブ配信と録画配信をご視聴ください

宇美町議会では、議場で行う議会・特別委員会のライブ配信と録画配信を行っています。

ライブ配信は、議会の傍聴に来られない方のために生中継で配信しています。

録画配信は、議会のホームページから議案審査や一般質問の様子をいつでもご覧いただけます。字幕付きですので音声聞き取りにくい方でも解りやすく、ご覧いただけます。

ライブ配信・録画配信は
こちらから



こどもの見守り活動

私の視点「なぜここを質問したか」

こどもの登下校時の見守り活動が、担い手不足により維持が難しくなっている。今後の見守り活動に対する町の支援の方向性を問う。



登下校時のこどもの見守り活動の充実を

答弁(町長) 誇りとやりがいを感じられる環境づくりに取り組む

高橋 紳章 議員

録画配信は
こちらから ▶



問 地域のこどもの見守り活動の体制は。

答 学校教育課長

地域の実情に合わせて、PTAや自治会の育成会、保護者が分担して登下校時の見守りを行っている。

加えて、こども見守りシステム「ツイタもん」を全小学校で導入しており、一部の児童で利用されている。

問 企業による見守り活動が行われている地域もあるが、町が主体的に協力体制を呼びかける考えは。

答 学校教育課長

企業には、各学校と連携しながら、まずは「※ながら防犯」への協力を呼びかけていきたい。

問 新たな事業として、こどもの見守り活動を宇美町コミュニティ・センターに担ってもらおう考えは。

答 管財課長

定款や運営体制の制約などにより、新たな事業の追加は難しい。

い状況である。

問 本町で交通指導員として会計年度任用職員を確保を検討する考えは。

答 学校教育課長

現在は、企業などへの委託や会計年度任用職員を雇用して見守り活動を行う方針は考えていない。まずは、学校とともに地域ボランティアの継続的な確保に努め、さまざまな手法で見守り活動を研究していく。

問 地域と町が一体となったこどもの見守り活動の充実について、町長の考えは。

答 町長

第一に、学校と地域が連携した仕組みの構築のために「地域学校協働活動」の推進による体制の強化を行う。

第二は、民間企業との新たな連携として「ながら防犯」の輪を広げていく。

第三に、将来を見据えた「新しい仕組み」の研究である。他自治体の事例を参考に、幅広く研究を

進めていく。

「地域の安全は地域で守る」を理念に、見守り活動に関わる方々が誇りとやりがいを感じられる環境づくりに積極的に取り組む。

※「ながら防犯」とは、散歩やウォーキングなどの日常生活で、地域の安全を見守る防犯活動の取組

質問を終えて



こどもの見守り活動は永遠の課題である。町と地域が一体となり、未来を担うこどもたちを安全・安心に見守る体制づくりに期待する。



地域企業による見守り活動

学力向上



私の視点「なぜここを質問したか」

宇美町総合計画の評価検証で、児童生徒の学力が低下し続けていることが浮き彫りとなった。
児童生徒の確かな学力の向上に向けて、今後の具体策を問う。

児童生徒の学力向上を

まるやま やすお
丸山 康夫 議員



録画配信は
こちらから ▶

答弁(町長) 主体的な学びへと劇的に転換する

問 これまでに取り組んだ学力向上の取組に対する検証と評価は。
答 教育長
前述した取組を行ったことで、一定の成果がみられた時期もあったが、継続はしなかった。

問 学力向上に向けて取り組んできた具体策は。
答 教育長
平成29年度から福岡県学力向上推進拠点校指定事業を宇美東中学校区として受けた。
また、同時期に福岡県学力向上強化市町村指定事業の指定を受け、2つの小学校を中心に、県の指導主事を数多く派遣し、授業改善を行った。

問 本町の児童生徒の学力の推移と現状分析は。
答 教育長
現状として、1年ごとに全国学力調査における標準化得点が下がっており、特に小学校6年から中1にかけて、標準化得点が大きく下がっている。

問 スマートフォンなどの長時間利用による体調不良を理由とした欠席や、保健室利用についての現状は。
答 学校教育課長
夜中までスマートフォンでメッセージのやり取りを行い、

問 児童生徒への情報リテラシー・情報モラル教育の取組状況は。
答 学校教育課長
令和5年度福岡県学力・学習状況調査によると、本町では家庭学習以外で1日2時間以上インターネット（SNSに限定せず）を利用する児童生徒が、小学5年生で40・1%、中学1年生で49・6%、中学2年生で36・5%となっている。

問 教職員への研修、保護者の方を対象とした説明会、啓発活動の実施状況は。
答 学校教育課長
教職員への研修は、情報教育担当者研修会などの場で、最新の情報モラルに関する研修を定期的に実施。

問 こどもたちを守るために、行政が果たす役割は。
答 町長
朝起きられず遅刻するケースや、長時間・深夜利用による睡眠不足や体調不良が原因による欠席、保健室利用が報告されている。

問 児童生徒への情報リテラシー・モラル教育の取組状況は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
令和5年宇美町こどもの生活に関するアンケート調査では、町全体で小学生68・6%、中学生91・4%の所持率となっている。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に

問 町として、こどもたちの学力向上をどう支えていくのか、町長の決意を。
答 町長
第7次宇美町総合計画の前期実践計画における評価検証の結果、本町の児童生徒の学力が継続的に低下しているという事態を非常に



カルビー株式会社による出前授業

質問を終えて

こどもたちの自己実現のためにも、学力向上を町の重要施策に位置づけ、予算もしっかり確保していくことが大切だ。



重く受け止めている。
学年が上がるとともに標準化得点が下がっていくという現状に対して、この状況を放置することは許されない。
本町の教育を守りから攻め、そしてやらされる学びから主体的な学びへと劇的に転換する決意である。

情報モラル教育

私の視点「なぜここを質問したか」

全国的にSNS上での誹謗中傷やいじめ、個人情報流出等が問題となる中、こどもを守るためには情報リテラシーと情報モラル教育の充実が重要である。



しろうず えいじ
白水 英至 議員

録画配信は
こちらから ▶



こどもたちをネットトラブルから守る 情報リテラシー・情報モラル教育推進を

答弁(町長) 地域全体での連携体制を強固にしていく

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
令和5年宇美町こどもの生活に関するアンケート調査では、町全体で小学生68・6%、中学生91・4%の所持率となっている。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。

問 児童生徒のスマートフォン
の所持率は。
答 学校教育課長
各学校において、学級活動や道徳科の学習、全校集会などを通じて情報モラル教育に取り組んでいる。



国が作成した
こども向け
情報モラル
学習サイト
はこちら

質問を終えて

SNSによる誹謗中傷や犯罪被害、ネット依存などから、こどもたちを守るためにも、行政の役割に期待したい。



情報リテラシーに関する正しい知識の啓発に力を入れ、地域でこどもたちのスマートフォンを使い方を見守るための体制を後押しする。また、警察などの外部機関との連携を強化する。
国の動向も注視しながら、学校現場の先生方への支援、家庭教育の充実、そして地域全体での連携体制を強固にしていく。

空き家利活用



私の視点「なぜここを質問したか」

空き家は景観の悪化や防災・防犯上の危険性があるため、空き家対策のより一層の強化が重要である。

空き家対策と未利用地活用による今後のまちづくりの展開は

こが ひろ子 議員

答弁(町長) 立地適正化計画策定の中で検討する

録画配信は
こちらから▶



- 問** 本町の空き家の現状と課題は。
- 答** 環境課長
空き家の把握は、自治会からの情報提供、固定資産税情報や水道閉栓情報などを活用。令和7年度は現地調査を実施。7年度末の空き家数は372件で、令和6年度から約60件増加。空き家の状態を適切に把握し、状況に応じた対応を行う体制整備が課題である。
- 問** 空き家の発生を未然に防ぐためには、相続や財産管理の相談体制づくりが必要と考えるが。
- 答** 環境課長
相談を受けた際には、県の空き家活用サポートセンター「イエカツ」を案内している。空き家の売却だけでなく、高齢者の終活支援や相続に関することなど幅広い相談に応じている。空き家バンクや「イエカツ」などの専門機関と連携し、早い段階から住まいの将来を検討いただけるよう支援していく。
- 問** 適正管理の助言や指導による、修繕や除却・適正管理につながった事例は。
- 答** 環境課長
管理不全となった空き家の所有者に適正管理を促してきた結果、解体や売却で、これまで346件の空き家が解消された。今年度は、国の法に基づく助言・指導などの措置が適切に実施できるよう、必要な整備を進めていく。
- 問** 空き家の解体費用を補助する除却支援制度導入の考えは。
- 答** 環境課長
今年度、管理不全空き家等に関する調査などを実施し、方針整理を進めるなかで、空き家バンクによる利活用施策や管理不全空き家等への対策とのバランスを考慮しながら、制度導入の必要性を総合的に検証していく。
- 問** 移住・定住の促進、地域課題の解決や地域活性化につながる考えは。
- 答** 環境課長



相続登記やイエカツを活用してほしい

質問を終えて

地域の未利用地が、魅力的な住宅や商業施設、公共スペースに活用されることで、地域全体の活性化につながることを期待したい。

答 都市整備課長
立地適正化計画の策定を進める中で、他自治体の事例も参考にしながら、制度活用の可能性を調査していく。

問 未利用地を含めた土地活用、民間との連携による再開発など、適正に土地を利活用したまちづくりを進める考えは。

県の「空き家再生子育て応援事業」の活用に向け、協議を進めている。また空き家活用事例などの周知を行い、多様な利活用につなげるよう取り組みたい。

原油ナフサ不足



私の視点「なぜここを質問したか」

ホルムズ海峡封鎖に端を発し、全国的に原油・ナフサ不足の影響が出ている。ごみ袋の製造費値上げや欠品する自治体も出てきたが、本町の影響は。

原油・ナフサ不足が与える影響と今後の対策は

なるみ けいや 議員

答弁(町長) 現時点で特段影響はない

録画配信は
こちらから▶



- 問** 原油などの輸入減少に伴い、建設資材の不足が報告されているが、本町の事業に与える影響や今後の見通しは。
- 答** 管財課長
資材価格の上昇が発生した場合は、契約内容に従い、発注者と請負者の協議を通じて柔軟に対応する体制を整えている。現時点では、事業に影響が出ているという事案の報告はない。しかし、今後資材納期の遅延や高騰が予測される工事も少なくないため、計画や発注の段階で十分に考慮し、適正な対応に努める。
- 問** 隣接する大野城市では、指定ごみ袋の製造費不足が生じている。本町で同様の事態が起きた場合の対応は。
- 答** 環境課長
原油価格高騰などの影響で、ごみ袋単価は上昇しているが、当初予算の範囲内で契約を締結することができた。納品にも支障がないことを確認している。他自治体と同様の事態が発生した場合、補正予算で対応することになるが、ごみ袋価格は現在の価格を据え置くことになると考えている。
- 問** ごみ袋が欠品した場合に備え、緊急措置や対応策を定めておくべきでないかと考えるが。
- 答** 環境課長
社会情勢の変化などにより、指定ごみ袋の安定供給に支障が生じる可能性もある。品薄状態になり得る場合には、指定ごみ袋以外の市販のごみ袋で、対応する特別措置を講じることになる。
- 問** 現在、町は「ゼロカーボンシティ」を宣言している。これを機に、ゼロカーボン推進に向けた取組をさらに強化していくべきではないか。
- 答** 環境課長
町民には、家庭で実践できるCO2削減行動の推奨や、企業には脱炭素に関する情報周知などを行っている。4月からは食用廃油の回収も



本町のゴミ袋は必要枚数を確保できている

質問を終えて

今回の原油危機を通じて従来のライフスタイルを改めて、省エネ、自然エネルギー活用に舵を切る時期に来ていると感じている。

開始しており、バイオ燃料などに再利用される。ごみの分別では、町民の理解と協力により分別が定着したことで、可燃ごみの収集量が減少傾向にあり、循環型社会構築への成果もみられている。今後も省エネルギー行動や、資源循環についての普及啓発を進めていかながら、脱炭素社会、循環型社会構築への取組を一層推進していきたい。



私の視点「なぜここを質問したか」

自治体DXの推進は行政サービスの向上と持続可能な行政運営の実現のための重要な取組である。自治体DXの現在地と今後の取組についてお尋ねしたい。

自治体DXの現状と今後の取組は

答弁(町長) 町民が住みやすさを実感できるデジタル社会の実現をめざす

やすかわ よしゆき
安川 禎幸 議員

録画配信は
こちらから▶



問 ②BPR(業務改革)の取組と業務のデジタル化の状況は。
答 総務課長
BPRについては、行政手続オンライン化は、52手続のうち約6割がオンライン化されている。業務デジタル化の面では、本

問 「宇美町自治体DX推進計画」の基本方針①窓口のデジタル化の現状は。
答 総務課長
※基幹業務システムの標準化に伴い「窓口支援システム」を導入した。データの活用により申請書記入の負担と職員の事務負担の軽減につながる。

問 「DX」「自治体DX」の意味は。
答 総務課長
「DX」はデジタル技術を使って仕事のやり方や仕組みを変え、価値を最大化すること。「自治体DX」は行政手続のデジタル化や行政内部のデータ連携などを通じて、住民の利便性向上と業務効率化を図るもの。

問 ③DXの推進状況は。
答 総務課長
基幹業務システムの統一・標準化は、一部の業務を除き、本年3月末までに全国共通の標準準拠システムへ移行した。行政手続オンライン窓口であるマイナポータルと基幹業務システムの連携も着実に推進している。

問 今後の自治体DXの取組は。
答 総務課長
本年3月に「宇美町デジタル活用推進計画」を策定した。これにより、町民の利便性向上と行政事務の効率化をより一層推進する。

問 コミュニティ、自治会、有害鳥獣、地域猫などの地域活動のDX化の考えは。
答 総務課長
各団体と対話し、デジタル技術も活用して地域の身近な課題を解決していきたい。

問 宇美町のDXの将来像は。
答 町長
町民がデジタルの恩恵を実感でき、将来にわたって持続可能な行政運営ができるまちの実現が本町のDXの将来像である。行政の根幹は人と人のつながりである。デジタル化で生まれた余力を地域活動の支援や対話に充てることで、温かみのあるデジタル社会を構築したい。

問 宇美町のDXの将来像は。
答 町長
町民がデジタルの恩恵を実感でき、将来にわたって持続可能な行政運営ができるまちの実現が本町のDXの将来像である。行政の根幹は人と人のつながりである。デジタル化で生まれた余力を地域活動の支援や対話に充てることで、温かみのあるデジタル社会を構築したい。

問 宇美町のDXの将来像は。
答 町長
町民がデジタルの恩恵を実感でき、将来にわたって持続可能な行政運営ができるまちの実現が本町のDXの将来像である。行政の根幹は人と人のつながりである。デジタル化で生まれた余力を地域活動の支援や対話に充てることで、温かみのあるデジタル社会を構築したい。

問 宇美町のDXの将来像は。
答 町長
町民がデジタルの恩恵を実感でき、将来にわたって持続可能な行政運営ができるまちの実現が本町のDXの将来像である。行政の根幹は人と人のつながりである。デジタル化で生まれた余力を地域活動の支援や対話に充てることで、温かみのあるデジタル社会を構築したい。

宇美町
オンライン申請
ポータルサイト



オンライン申請で
手続きもスムーズに

質問を終えて

国の調査では、本町は堅実に自治体DXを進めているという評価だ。DXの推進で「書かない・行かない窓口」の実現を期待したい。



私の視点「なぜここを質問したか」

放置竹林の拡大防止と地域の安全・安心の確保を図り、竹資源の有効活用による持続可能な地域循環の実現をめざすため。



こばやし たかお
小林 孝昭 議員

竹害対策と防災・地域循環施策の考えは

答弁(町長) 竹害対策と竹活用を研究していく

録画配信は
こちらから▶



問 放置竹林の拡大を防ぐための、今後の対策は。
答 都市整備課長
竹は繁殖力が非常に強く、管理を怠ると急速に拡大する植物である。管理者の高齢化や後継者不足などにより、放置竹林が増加している。また、竹の根は浅く土壌を十分に固定できないため、大雨や地震時には土砂災害や斜面崩壊の危険性が増すほか、水路機能の阻害や景観悪化も懸念される。

問 放置竹林の拡大を防ぐための、今後の対策は。
答 都市整備課長
竹は繁殖力が非常に強く、管理を怠ると急速に拡大する植物である。管理者の高齢化や後継者不足などにより、放置竹林が増加している。また、竹の根は浅く土壌を十分に固定できないため、大雨や地震時には土砂災害や斜面崩壊の危険性が増すほか、水路機能の阻害や景観悪化も懸念される。

問 放置竹林の拡大を防ぐための、今後の対策は。
答 都市整備課長
竹は繁殖力が非常に強く、管理を怠ると急速に拡大する植物である。管理者の高齢化や後継者不足などにより、放置竹林が増加している。また、竹の根は浅く土壌を十分に固定できないため、大雨や地震時には土砂災害や斜面崩壊の危険性が増すほか、水路機能の阻害や景観悪化も懸念される。

問 放置竹林の拡大を防ぐための、今後の対策は。
答 都市整備課長
竹は繁殖力が非常に強く、管理を怠ると急速に拡大する植物である。管理者の高齢化や後継者不足などにより、放置竹林が増加している。また、竹の根は浅く土壌を十分に固定できないため、大雨や地震時には土砂災害や斜面崩壊の危険性が増すほか、水路機能の阻害や景観悪化も懸念される。

問 放置竹林の拡大を防ぐための、今後の対策は。
答 都市整備課長
竹は繁殖力が非常に強く、管理を怠ると急速に拡大する植物である。管理者の高齢化や後継者不足などにより、放置竹林が増加している。また、竹の根は浅く土壌を十分に固定できないため、大雨や地震時には土砂災害や斜面崩壊の危険性が増すほか、水路機能の阻害や景観悪化も懸念される。

問 放置竹林の拡大を防ぐための、今後の対策は。
答 都市整備課長
竹は繁殖力が非常に強く、管理を怠ると急速に拡大する植物である。管理者の高齢化や後継者不足などにより、放置竹林が増加している。また、竹の根は浅く土壌を十分に固定できないため、大雨や地震時には土砂災害や斜面崩壊の危険性が増すほか、水路機能の阻害や景観悪化も懸念される。

問 中山間地の維持管理と地域循環を組み合わせ、竹害対策で
答 都市整備課長
森林環境譲与税を活用して導入する竹粉砕機は、土壌改良剤や肥料などへの活用が可能。そのため、今後は竹林所有者への貸出も想定した、利用しやすい機種を検討している。貸出制度については、安全講習や利用料金などを含め、先進自治体の事例を参考に前向きに検討していく。

問 中山間地の維持管理と地域循環を組み合わせ、竹害対策で
答 都市整備課長
森林環境譲与税を活用して導入する竹粉砕機は、土壌改良剤や肥料などへの活用が可能。そのため、今後は竹林所有者への貸出も想定した、利用しやすい機種を検討している。貸出制度については、安全講習や利用料金などを含め、先進自治体の事例を参考に前向きに検討していく。

問 中山間地の維持管理と地域循環を組み合わせ、竹害対策で
答 都市整備課長
森林環境譲与税を活用して導入する竹粉砕機は、土壌改良剤や肥料などへの活用が可能。そのため、今後は竹林所有者への貸出も想定した、利用しやすい機種を検討している。貸出制度については、安全講習や利用料金などを含め、先進自治体の事例を参考に前向きに検討していく。

問 中山間地の維持管理と地域循環を組み合わせ、竹害対策で
答 都市整備課長
森林環境譲与税を活用して導入する竹粉砕機は、土壌改良剤や肥料などへの活用が可能。そのため、今後は竹林所有者への貸出も想定した、利用しやすい機種を検討している。貸出制度については、安全講習や利用料金などを含め、先進自治体の事例を参考に前向きに検討していく。

問 中山間地の維持管理と地域循環を組み合わせ、竹害対策で
答 都市整備課長
森林環境譲与税を活用して導入する竹粉砕機は、土壌改良剤や肥料などへの活用が可能。そのため、今後は竹林所有者への貸出も想定した、利用しやすい機種を検討している。貸出制度については、安全講習や利用料金などを含め、先進自治体の事例を参考に前向きに検討していく。

問 中山間地の維持管理と地域循環を組み合わせ、竹害対策で
答 都市整備課長
森林環境譲与税を活用して導入する竹粉砕機は、土壌改良剤や肥料などへの活用が可能。そのため、今後は竹林所有者への貸出も想定した、利用しやすい機種を検討している。貸出制度については、安全講習や利用料金などを含め、先進自治体の事例を参考に前向きに検討していく。



竹害対策と防災・地域循環を

質問を終えて

竹粉砕機の導入と貸出制度の方向性が示され、中山間地の防災力向上と地域資源の有効活用が進むことを期待したい。



議会広報常任委員会

議員の資質向上で「伝える力」を高めよう

6月23日（火）、㈱会議録センターの矢嶋洋美氏を講師に招き「熱い想いとチャレンジが議会だよりを変えていく!」をテーマに全議員を対象とした議会広報研修会を行いました。

議会広報は、住民の代表として選ばれた議員・議会の意思を示す重要なツールです。町民の皆さんが読みたくなる議会広報となるよう、改善点などをしっかりチェックしていただきましたので、今後の編集に役立てていきます。

また、一般質問の質を高めるための「一般質問設計メソッド」を学びました。



議会広報チェック&アドバイス



3時間の研修で議員もレベルアップ



委員会コメント

研修でのアドバイスを活かして、町民の皆さんに手に取って読んでいただける議会広報づくりに励むとともに、全国町村議会広報コンクールでの入賞をめざします。

行政視察で地域資源をPR

5月12日（火）久山町議会

テーマ：地域コミュニティ推進条例

5月14日（木）宮城県南三陸町議会

テーマ：部活動の地域展開

5月21日（木）茨城県桜川市議会

テーマ：部活動の地域展開

7月 1日（水）東京都日の出町議会

テーマ：AI オンデマンドバスのるーと

桜川市議会の視察終了後には、議会によるおもてなしとして、議長と町職員（学芸員）が町の歴史資源などを紹介しました。議会も、もっと町の魅力をPRしていきます！



桜川市議会の方々に宇美八幡宮の歴史を説明

議員研修

法令遵守で信頼される議会に

6月9日（火）、特定社会保険労務士の高橋美紀氏を講師に招き、全議員で「議会におけるハラスメント対策研修会」を行いました。

ハラスメントに関する正しい知識と現代社会でハラスメント防止対策が必要とされる理由を学びました。



風通しの良い環境を作る一言を学ぼう



議会コメント

相手が感じる言葉の受け取り方に細心の注意を払い、発言には気をつけていきます。

総務建設常任委員会

議会防災訓練で対応力向上

6月19日（金）、定例会閉会后、議会防災訓練を行いました。

訓練では、震度6強の地震が発生し、議場の天井や照明が落下して負傷者が出たことを想定しました。議員は、安全確保行動（シェイクアウト）、避難誘導、負傷者搬送などを実践し、災害時の対応を確認しました。



委員会コメント

今回の訓練を通じて、災害発生時の対応力と防災意識の向上を図ることができました。

今後も防災・減災の取組を進め、町民の安全・安心の確保に努めます。



防災マネージャーの講義を受講



負傷者（ダミー）を安全に搬送

厚生文教常任委員会

地域学校協働本部活動

こどもの居場所づくりを目的に、井野小校区で地域の方が中心となり実施されている「いきいきいのっこ子ども教室」（通称：いのっこ）が、地域と学校の連携をさらに深めるために、宇美町地域学校協働本部としての活動をスタートしました。



地域学校協働活動で、何が変わる？

地域と学校が密接になることで、より活動場所や活動内容が充実します。

「いのっこ」では、保護者や地域の方々の協力で、そうめん流しやハイキングなど活発に活動しています。こどもたちの成長を支えるために地域と学校が連携するこの取組が、今後さらに町内へ広がることを期待します。



活動推進員
田島さん(左)、吉田さん(右)



委員会コメント

平成16年から続く「いのっこ」の活動は地域による優れた学校支援活動と評され、文部科学大臣表彰を受賞しています。

この活動が円滑に進み、さらに発展していくよう、議会からも働きかけていきます。